

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2024 年 7 月 18 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所 氏 名 (代表者名)	〒 004-8602
	札幌市清田区清田4条1丁目4番1号
	学校法人札幌国際大学
	理事長 田村 智幸

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 1 3 条第 4 項 の規定により、環境保全行動
第 2 3 条第 3 項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日					
事業 の 規 模	従業員数	194	人	原油換算した	901.5	kl	
	使用床面積	52835	m ²	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	10	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	2190	t-CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC
		非エネルギー起源CO ₂		t-CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃
報告書の担当部署		担当部署名 担当者氏名 電話/FAX 電子メールアドレス					
計画書提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)			☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項		
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)			☐ 第 1 項 ☐ 第 2 項		
計画期間		2021 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり					
備 考							

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】
2021 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日
【報告期間】
2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2021年度結果			2022年度結果			2023年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
二酸化炭素排出量の削減	1970	0	2280	▲ 16	×	2260	▲ 15	×	2190	▲ 11	×
	t-CO2	%	t-CO2	%		t-CO2	%		t-CO2	%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。
2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。
○：目標削減率を達成
△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成
×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
二酸化炭素排出量の削減	×	クラブ送迎・授業等での校用車の利用が高まりレギュラー給油量が増加。 また、大学におけるA重油使用量の増加も原因と考えられる。